

平成23年5月臨時会 上田登議長、水野恭子副議長を選出

改選後の初議会を開く

役職決定し新体制始まる

平成23年第1回臨時会は、5月16日に開会し、議会の役職人事を決定しました。正副議長には選挙の結果、議長に上田登議員(新栄会)、副議長に水野恭子議員(共産党)を、それぞれ選出しました。また、委員会構成や正副委員長の互選を行ったほか、議員提案の議会委員会条例の一部改正案を可決し、そして京都府地方税機構議会議員、京都府後期高齢者医療広域連合議会議員の選出を行いました。また、市長から提案された副市長、議会選出の市監査委員を選任することに同意しました。

統一地方選挙の市議会議員選挙後、初めての議会となった臨時会では主に議会役職人事などを決定しました。

常任委員会等 役職人事決定

まず、議長選挙では、投票の結果、上田登議員13票、市田博議員1票、次田典子議員1票、無効6票となり、上田登議員(76)と三山木小坂(11)が選出され、就任しました。また、副議長選挙では、投票の結果、水野恭子議員18票、塩見建夫議員1票、次田典子議員1票と

伊佐男議員(一新会)、同副委員長に櫻井立志議員(公明党)がそれぞれ就任しました。特別委員会では、市議会だよりの発行のため広報編集特別委員会を設置することを賛成多数で可決した後、委員長に岡本亮一議員(共産党)、同副委員長に河本隆志議員(民主党)が就任しました。

監査委員に 松村博司議員

市長から人事案7件が提案され、議員から選ばれる「監査委員の選任」は、松村博司議員(一新会)を、「副市長の選任」は、現副市長の廣野信氏をそれぞれ同意しました。

常任委員会等の新構成

総務常任委員会 7人			
◎小林 喜代司	青木 綱次郎	上田 登	
○米澤 修司	市田 博	南部 登志子	
	上田 毅		
文教福祉常任委員会 7人			
◎増富 理津子	岡本 茂樹	松村 博司	
○河田 美穂	奥村 良太	水野 恭子	
	次田 典子		
建設経済常任委員会 7人			
◎奥西 伊佐男	岡本 亮一	塩見 建夫	
○櫻井 立志	河本 隆志	鈴木 康夫	
	喜多 進		
議会運営委員会 8人			
◎市田 博	青木 綱次郎	塩見 建夫	
○奥村 良太	小林 喜代司	松村 博司	
	櫻井 立志	米澤 修司	
広報編集特別委員会 5人			
◎岡本 亮一	岡本 茂樹	小林 喜代司	
○河本 隆志	河田 美穂		

◎委員長 ○副委員長

新たな会派構成 (定数21人)◎幹事

日本共産党京田辺市議会議員団 (5人)			
◎青木 綱次郎	岡本 亮一	塩見 建夫	増富 理津子
○水野 恭子			
新栄会 (4人)		民主党議員団 (2人)	
◎小林 喜代司	上田 登	奥村 良太	喜多 進
○河本 隆志			
公明党 (2人)		無党派	
◎櫻井 立志	河田 美穂	上田 毅	次田 典子
○河本 隆志			
一新会 (5人)		無党派	
◎市田 博	奥西 伊佐男	鈴木 康夫	松村 博司
○河本 隆志			

会派の抱負

会派とは、主義や主張を同じくした議員が2名以上で組織されます。

共産党

多くの皆さんのご支援で日本共産党は4議席から5議席へと前進しました。男性3人と女性2人。年代は30代1人、40代1人、50代1人、60代2人。居住地は北部2人、中部2人、南部1人。バランスよく、市民の多様なニーズにこたえる議員団としてがんばります。

一新会

「目指す都市像の実現に向け、市民視線で市政を推進」市民の代表者として我々に課せられた使命を全うするため、会派所属議員が意志を統一し、市政運営を慎重に審議し、必要な時期に事業が実施できるよう取り組み、新たな提案により事業実施等を強力に推進する。

新栄会

今春の市議会議員選挙には多くの市民の皆さんのご支援をいただきました。現在推進中の第3次総合計画の達成と行財政改革は全力で取り組み、市民の皆さんに住んでよかったと言っていただけるまちにするために全員で頑張ります。

民主党

東日本大震災・福島原発事故とエネルギー政策の転換・人口減少社会の到来、大きな時代の転換期を迎えています。将来世代に負債を残さないことを改めて訴え、既存の価値観にとらわれず、持続可能な、子どもたちや孫たちが誇りの持てるまちづくりを進めたい。

公明党

私たち公明党2名の議員はともに2期目を迎えました。この4年間、生活者の視点に立って、現場を歩き、市民の声を市政に届けてまいりました。このたびの大震災の教訓を生かし、市民に寄り添い、支え合つて安心して安全のまちづくりを進めてまいります。

市民の皆様には、日頃から市政の発展と議会活動に対し、ご理解と協力をいただき、心からお礼申し上げます。私たちはこのたびの臨時会で、議員各位のご推挙により、議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄であるとともに、その責任の重さを痛感しております。もよりの微力ではありますが、市民の皆様の声が、市政に反映できるよう、自覚を新たに初心にかえり、全精力を注いでいく所存であります。さて、未曾有の東日本大震災により被災されました方々には、一日も早い復興をお祈りいたします。

就任にあたって



上田登議長



水野恭子副議長

一方では、今までも増して大きな課題となる超少子高齢化社会への対応など、行政需要がますます複雑・多様化しています。

う議会運営においても、議員一人ひとりの行政に対する要求項目の拡大であることも考えられます。すなわち、地方自治体は、市民ニーズを反映させた施

策や地域特性に応じた施策を積極的に展開していくことが求められます。今後においても、本市の財政状況は一段と厳しい状況にあります。議会として、市民福祉の増進のため、限りのある財源を有効に、かつ最大限の効果を得られる施策となるよう、厳正公平な審議に徹し、行政と緊密な連携を図りながら、市政の発展と効率的で円滑な議会運営に努めてまいります。